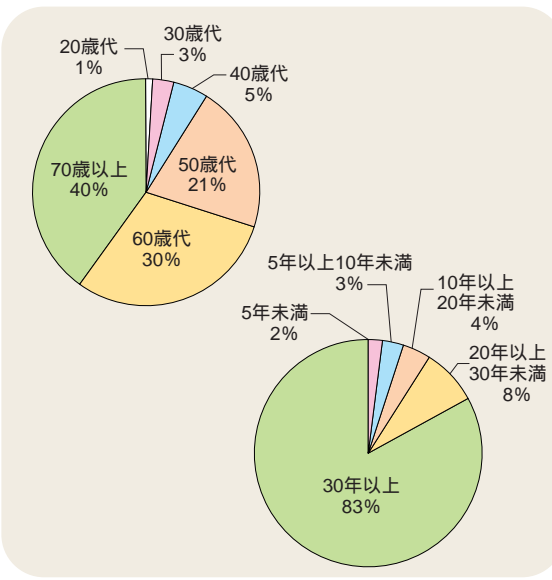


《都心6区区民大会アンケート結果》

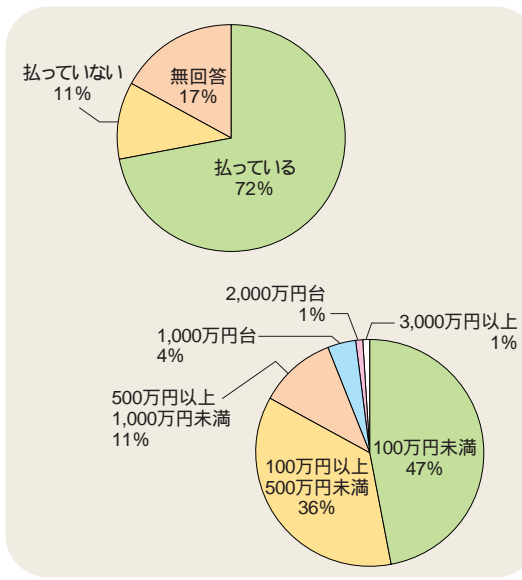
昨年10月20日、『21世紀も住み働き続けたい私たちのために 実現しようみんなの願い』をスローガンに、千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区の住民、区議会、区が共同で「固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心6区区民大会」を開催しました。

当日会場に参加者の皆さんにご協力をいただきました。アンケートの調査結果の概要を紹介いたします。

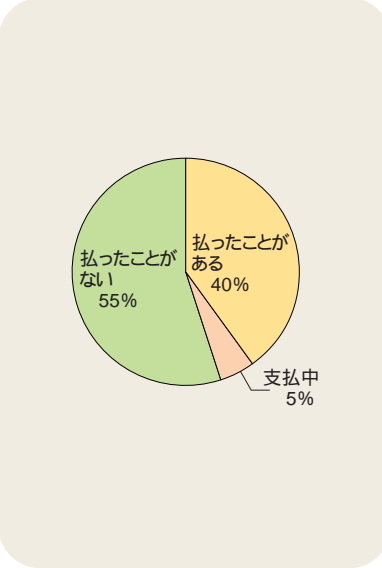
(大会参加者95名中、アンケート回答者323名)
アンケートにご回答いただいた方の年齢層を見ると、70歳以上が40%、続いて60歳代、50歳代の順になっています。また、83%の方が30年以上、現在の地域に住んでいると答えています。



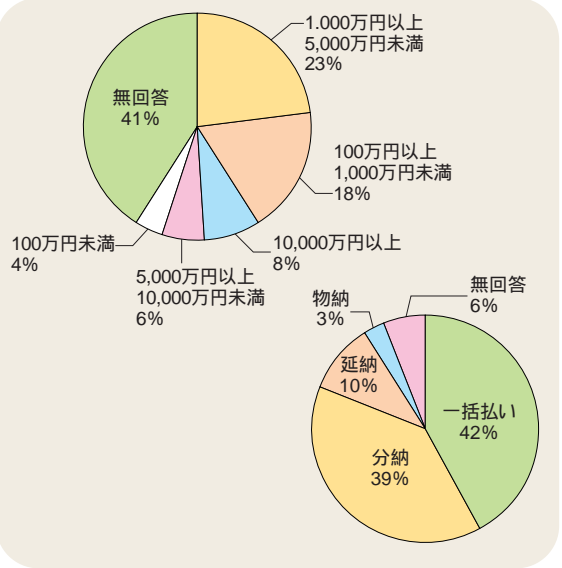
固定資産税は72%の方が払っていると答えています。納めた金額は、100万円未満が47%と最も多く、続いて100万円以上500万円未満36%、500万円以上1,000万円未満11%の順になっています。



相続税は、払ったことがある、支払中を合わせて45%となっていますが、55%の人は払ったことがないと答えています。



相続税を納めた金額については、1,000万円以上5,000万円未満が23%で最も多く、続いて100万円以上1,000万円未満が18%となっています。さらにその支払方法は、一括払いが42%、分納39%、延納10%、物納3%となっています。



次にアンケートで寄せられた、様々な感想や意見(千代田区民のみ)の中の一部をご紹介します。

- ・これだけ多数の人が集まる熱気ある大会はない。それだけ切実な問題なのだ。
- ・大変有意義な大会であった。継続して開催されることを望む。
- ・減税実現に一層の努力をお願いする。
- ・ささやかな住民運動であるが、都市部住民の声を中央政府に届けるように、これからも頑張ってもらいたい。

固定資産税について

- ・高すぎる。生活に支障がある。
- ・毎年払う税額の大きさに実感としてその重さに、都心に住む希望を失う。
- ・土地税制の再度の見直しをしてほしい。
- ・地価の下落が続いているのに、税額に反映されていない。負担が多すぎる。
- ・住宅部分については、全国同一にしてほしい。

相続税について

- ・生活最低限を確保できる税金に。
- ・自社の相続に関しては、額面にしてほしい。
- ・家族が現在地で住めなくなり、仕事が続けられなくなる。何処かおかしい。遺族や従業員の生活が脅かされる事はないよう措置してほしい。

大会会場では、アンケート調査にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

ここで紹介したものは、アンケート結果のごく一部です。詳しい内容をお知りになりたい方は、区議会事務局をご覧ください。

区議会では、皆さんからの切実な声を集めた貴重なアンケート結果を参考にさせていただきます。区民の皆さんや区とともに、引き続きこの問題に取り組んでまいります。皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

平成13年第1回定例区議会開催

平成13年第1回定例区議会は、3月上旬から開催する予定です。区民の皆さんの傍聴をお待ちしています。日程等の詳細は、後日ホームページに掲載します。

写真・イラストを募集!

区議会広報委員会では、ちよだ区議会だよりに掲載する写真・イラストを募集しています。テーマは自由です。風景やお子さん、お孫さんの写真・イラストなど、みなさんの自信作をお待ちしています。

掲載させていただいた方には、図書券を差し上げます。



どう? ぼくのダンス

編集後記

新しい21世紀の幕開け。いつになく、新たな気持ちで、だよりの編集に力を注いでいきます。親しまれる議会の広報紙を目指して! みなさんからの声をお寄せください。(戸張)

アンケートを区議会だよりに掲載している区は千代田だけです。皆さんの声を区議会の運営にも役立て、今年も開かれた議会の一翼として広報委員も活動します。(竹田)

輝かしい新年を迎え、今年は基礎的自治体としての評価が問われる大切な年となりました。いつも区民の皆様の視点を忘れず、わかりやすい内容でお届けして参ります。(桜井)

女性一人で傍聴席に入るのに勇気がいるとの声がアンケートにありました。構造からしてそうかもしれません。議会を一階にも参りませんが今世紀議会をもっと身近な所に!!(小枝)

新しい年の始まり今年も一杯仕事をします。傍聴された皆様からの様々な声に、一つ一つお応えできるように、改善・工夫・実行する区議会であるよう努力していきます。(松本)

昨年11月、区議会で初めて情報公開条例が施行され、議会活動が身近な情報としてお知らせできるようになりました。"だより"が更に親しまれる広報となるよう取り組みます。(山田)

写真選びも広報委員会の楽しみの一つです。いよいよ二十一世紀。今回は、新しい時代の担い手となる子どもたちの写真いっぱい"だより"です。(木村)

掲載した写真をさしあげます。詳しくは区議会事務局まで